

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271300420		
法人名	有限会社五葉会		
事業所名	グループホーム静豊庵		
所在地	〒854-0202 長崎県諫早市森山町慶師野778 (電話) 0957-20-5555		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成20年12月24日	評価確定日	平成21年1月19日

【情報提供票より】(20年 12月 5日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 16人, 非常勤 3人, 常勤換算	17.25人

### (2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2階建ての	1~2 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,000・32,000 円	その他の経費(月額)	5,000+実費 円
敷 金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	- 円	昼食 - 円
	夕食	- 円	おやつ - 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要(12月 5日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	2 名	要支援2	- 名
年齢	平均 84.3 歳	最低 65 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	高木内科胃腸科医院 清水歯科 宮崎病院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、図書館や公園など公共的な施設に恵まれた環境に位置しています。小高い場所に建てられたホームは見晴らしが良く、面会に訪れるご家族からも好評のようです。立地的にホームまでの道の一部が狭い状況にありますが、緊急車両の往来を考え駐車場を拡充されるなどの対策が行われています。ホーム内は、木造の暖かみを感じられ、季節に応じた装飾がさりげなく施され、明るく清潔な空間が保たれています。「和」で始まる理念は、スタッフへ周知され和や優しさを常に意識した支援に努められています。ご利用者は日中、スタッフに寄り添われゆっくりとした穏やかな時間を思い思いに過ごされています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) <b>前回評価結果にとられない改善活動が見受けられます。</b> 前回評価結果はスタッフ間で検討され、改善活動が行われています。改善計画書では、前回の結果にとられず実施された改善計画の評価が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) <b>ミーティングを活用した自己評価が行われています。</b> 評価制度の意義や改善課題の共有が図れるよう、自己評価についてはミーティング時に話し合いが行われ取りまとめられたとのことです。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) <b>開催頻度の充実が求められます。</b> 開催頻度については、概ね2ヵ月に一回の開催が求められます。今後は開催頻度の充実により、サービスの質の向上につながる積極的な意見交換が継続的に行われることを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) <b>ご家族の意見を聴取する姿勢はうかがえます。</b> 意見箱が設置されており、面会時などにご家族からの意見の聴取に努められているようです。しかし、現在運営に反映するような意見の聴取には結びついていないようですので、更なる積極的な取り組みを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) <b>地域との関係作りを大切に考えられています。</b> 地域行事である清掃活動に参加し、地域の方々との交流や意見交換を大切にされています。その他にも地域の祭りへ参加や、消防団、民生委員との交流も大切に考えられています。地域との和を大切にされていることが感じ取れます。

(別紙2-2)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「和をもってふれあい・・・」といった言葉からはじまる理念は、利用者の和・スタッフの和・家庭的な和・地域との和といった「和＝輪」を重要視し策定されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を大きく掲示し、月2回のミーティングにおいて参加スタッフ全員により順番に読み上げるといった独特の手法で周知が図られています。その際には、必要に応じて理念の説明なども行われています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者を筆頭に地域の清掃活動へ参加され情報交換や交流が行われています。また、ご利用者と共に地域のお祭にも参加されています。地域の民生委員との情報交換も月に1回程度行われ、地域の消防団などとの交流にも積極的に取り組まれています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、ミーティングの際にスタッフの意見を取りまとめる形で実施されているとのことです。外部評価結果についても反省会といった形で、スタッフの関わりの中で検討されているとのことです。改善計画書からは、外部評価結果にとらわれない改善活動の評価が読み取れます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の今年度の開催は、まだ2回といった状況です。内容としては、ホームを理解していただくための取り組みや外部評価の報告などが議事録で確認できます。	○	頻度については、概ね2ヵ月に一回の開催が求められていますので、開催頻度を見直し、継続的なより良いホーム運営についての意見交換が実現されることを期待します。評価結果に基づく改善案について話し合うなどの取り組みにも期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現状、市町村との連携は電話による相談が中心となっており、連携によるサービス向上には至っていないとのことです。	○	市町村担当者と地域密着型サービスについての課題の共有を図り、課題解決に向けて協議するなどの取り組みに期待します。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	状況の報告などは面会時に口頭で行われ、請求書発送と共に文章による報告にも努められているとのことです。また、金銭や健康に関しても、領収書や検査結果などにより報告されているとのことです。手書きの「静豊庵だより」も2ヵ月に1回発行されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱は1階の玄関に設置されており、面会時に意見の聴取に努められていますが、現状ご家族からの意見は発生していないとのことです。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフを含めホーム内は人間関係が良好のようで、離職は少ないとのことです。また、常にユニット間の壁が感じられないように交流しながらの支援に努められています。管理者は、スタッフが働きやすい環境づくりを心掛けられています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会を中心に順番に外部の研修会に参加され、レポートの回覧やミーティング時の報告が行われています。また、希望により資格取得に関する研修会への参加も促されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、諫早地区のグループホーム協議会へスタッフが2名ずつ参加され、他のホームとの交流を図られているとのこと。また、他のホームの見学なども行われているとのこと。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはご本人やご家族の状況に応じて、ご本人を含めた関係者との面接が行われています。入居直後は、ご家族から得られた情報を活かした支援に努められ、ご本人の状況により、ご家族に面会を増やしていただくなどの取り組みも行われているとのこと。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、ご利用者に対し尊敬の意を持って接するように心がけ、ご利用者からの感謝の言葉や労いの言葉に感謝しながら支援に努められています。訪問時にはご利用者に寄り添うスタッフの姿が見受けられました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向が把握し難いご利用者に対しても、生活歴や職業歴を活かした声掛けから表情の変化などをくみ取り、意向の把握に努められています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会対応記録や身体情報シートなどを活用し、ミーティングでスタッフの意見を基に介護計画が策定されているとのことです。もちろん、医師の指示や看護師の助言なども反映させるとのことです。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヵ月ごとに見直しが行われ、状態変化時にもミーティング内で意見交換による随時の見直しが行われています。実際に1ヵ月程度での介護計画の見直しの事例も確認できます。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望や要望に応じて、自宅への帰省（外泊）支援や馴染みの理美容の利用の支援が行われ、カラーリングやパーマをされるご利用者もいらっしゃるとのことです。また、通院介助の帰りのお買い物などもご利用者の楽しみの一つとなっているようです。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は事業所の都合ではなく、ご利用者等の希望により選定されています。検査結果などは医療機関からご家族に渡され、その写しをご家族から提供いただくようにされています。医師との情報の共有は看護師を通じて行われているとのことです。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期は、医師の往診などにより対応された実績について2件聴取できます。また、ご家族との話し合い等ももたれているようですが、看取りに関する指針の整備や意向の確認は十分とは言いがたい状況です。	○	指針の整備を行い、早い段階からの意向の聴取に努め、記録に残されることを期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室の小窓に目隠しを施し、ホーム外でご利用者に関する話をしないなど、設備面やスタッフ教育について配慮がうかがえます。しかし、個人情報の利用目的や個人情報保護方針の整備については確認できません。	○	個人情報保護方針や利用目的などの整備を図られ、スタッフへの周知活動やご家族への安心感につながる取り組みを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出身地や職歴、生活歴をヒントにご利用者の意向の把握に努め、ご利用者の意向に沿った支援を心掛けられているとのことです。食事も急かすことなく、ご利用者のペースで食されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、ご利用者の希望により可能なメニューを採用されるなどご利用者本位の支援に努められ、菜園で収穫された食材も使用されています。重度化対応によりスタッフが一緒に食されるのは2階ユニットのみとなっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日が設定されていますが、毎日どちらかのユニットで入浴可能となっており、ご利用者の希望に添った対応が行われているようです。入浴は1人ずつゆっくり入っていただくことを念頭に支援され、入浴剤も季節的な配慮のもとで活用されています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の状態に応じ、食器洗いなどで協働されています。菜園へのかかわりや編み物、散歩、書道などの楽しみごとについても支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の状態や気候などに配慮し、散歩などの支援が行われているとのこと。近くの公園や図書館へのドライブも頻繁に行われており、車いすでの支援も行われているとのこと。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されることなく、ご利用者の外出は、見守りにより対応されています。徘徊の傾向などについても把握しスタッフ間で協力しながら対応されているとのこと。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導による避難訓練や夜間想定 of 訓練なども行われています。県央での消火器操作大会では3位に入賞されるなど実力も備わっているようです。しかし、飲料水などの備蓄は十分とは言いがたい状況にあります。	○	様々な災害を想定し災害対策備品や飲料水などの備蓄についても整備されることを期待します。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事の摂取量については、ファイルに記録し把握されているとのことです。栄養バランスについては栄養士である管理者の管理の下、食事が提供されています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを心掛けられており、訪問時にはクリスマスの飾り付けが施されていました。季節に応じていない飾りつけもありましたが、ご利用者の要望で残しているとのことでした。ご利用者はリビングにてそれぞれのペースで過ごされていました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には、特に制限を設けられておらず、テレビやダンス、ソファやテーブル、写真やヌイグルミなどの持ち込みが確認できます。居室のレイアウトは、ご利用者の要望に添うようスタッフが支援されているとのことです。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。